

## 事業計画

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

### I. 2023年度の重点課題

#### <消費者団体・消費生活専門家としての課題>

- (1) 若年世代を対象とした消費者教育の拡充・強化
- (2) 高齢者のICTリテラシーの向上のための活動
- (3) エシカル消費の普及や食品ロス削減のための消費者への働きかけ
- (4) 事業者の消費者志向経営（サステナブル経営）の支援
- (5) 相談員の養成支援
- (6) 消費生活アドバイザー資格の普及
- (7) 新たな消費者課題への対応（デジタル化、広告表示、食の安全等）
- (8) 他団体との連携

#### <法人としての課題>

- (9) 公益目的事業の一本化（内閣府公益認定等委員会への変更認定申請）
- (10) ホームページのリニューアル・創立35周年事業

### II. 各事業の事業計画

【公益目的事業】消費者の権利擁護・利益の向上に資する活動

#### A. 消費者相談

##### <自主事業>

- (1) 週末電話相談（ウィークエンド・テレホン）
- (2) 消費者トラブルなんでも110番
- (3) Consumer ADR
- (4) 相談員養成講座

##### <受託事業>

未定

#### B. 消費者教育・消費者啓発

##### <自主事業（助成・共同事業含む）>

- (1) 講師派遣（学校・特別支援学級、自治体、企業等）（学校講師派遣については（一財）産業人材研修センターとの共同事業、特別支援学級への講座提供は（一財）ゆうちょ財団の助成事業として実施）
- (2) NACS フォーラム「Z世代と考える消費者問題」第2回の開催（アマゾンジャパン合同会社助成事業として実施）
- (3) 大学への消費生活アドバイザー資格入門講座の提供（（一財）産業人材研修センターとの共同事業）

- (4) 消費生活・消費者問題に関するセミナー等の開催
  - 昭和女子大学との連携講座
  - 本部各委員会が行う公開講座
  - 支部が行う公開講座
  - その他
- (5) 講師や啓発リーダーの育成
  - 講師養成講座
  - ICTリーダー育成事業（デジタル推進委員登録者支援含む）
  - エシカル消費啓発リーダーの育成事業
  - 食品ロス削減サポーターの活動支援
  - 標準化推進リーダー育成事業
- (6) 教材の開発・改訂
  - 既存教材の改訂及びデジタル化対応
  - 若年世代を対象とした小冊子「お金の話」（仮称）の開発（（一財）日本宝くじ協会助成事業）
- (7) 消費生活・消費者問題に関する情報発信
  - 広報誌の発行
  - メールマガジンの配信
  - NACS 公式チャンネル（YouTube）による啓発情報の発信
  - SNS の活用

<受託事業>

大阪府「消費生活相談員養成講座」  
徳島県「消費生活相談員養成講座」

C. 事業者等の消費者志向経営（サステナブル経営）を支援する事業

<自主事業（共同事業含む）>

- (1) 消費者志向 NACS 会議の開催
- (2) 消費生活アドバイザー資格取得支援事業
- (3) 消費者モニターの派遣
- (4) 認定個人情報保護団体としての活動

<受託事業>

未定

D. 消費生活に関する調査・提言・情報提供等

<自主事業>

- (1) 調査（各委員会・消費生活研究所、支部自主研究会）
- (2) 提言（相談室・各委員会）
- (3) 消費者及び事業者への情報提供
- (4) 他団体との連携（特商法改正に向けた全国連絡会、内閣府地方創生プラットフォーム SDGs と安全分科会、インターネット防災訓練等）

<受託事業>

未定

【公益目的事業以外の活動】 会員のための活動

A. 支部における会員活動

- (1) 支部大会の開催
- (2) 支部会報誌の発行
- (3) 会員のための研修会
- (4) 自主研究会活動

B. 賛助会員との交流

- (1) 賛助会員交流会の開催
- (2) 賛助会員との意見交換会

以上